道徳参観日　６年「負けないで」

10 月 23 日（金）の 5 時間目に道徳参観日がありました。ご多用の中，ご参加いただきありがとうございました。

授業では，『負けないで』というお話を読み，命について考える学習をしました。このお話は，「東日本大震災で母・祖父母・友達を失うという悲しみを経験した佐々木瑠璃さんの生き方」について書いてあります。瑠璃さんの生き方を通して，**命をかがやかせて生きようとする心**を育てることをねらいとしました。

授業では，「悲しい経験をしたあとに，どのような気持ちで楽器を演奏していたのか。」「瑠璃さんのどのようなところが「命を輝かせて生きている」と思ったか。」ということについて考えました。子どもたちは，一人一人しっかりと自分の考えをもちながら，命をかがやかせるとはどういった生き方なのか学んでいました。そして，瑠璃さんの生き方から**「自分の好きな事や目標に向かって頑張る」「辛いことがあっても前向きになる」「だれかのために行動する」**ことが「命をかがやかせて生きる」ことであるという意見が出ていました。授業の最後には，瑠璃さんの実際の演奏の映像も見ました。学習発表会に向けてスクールバンドを頑張っている 6 年生は，自分の姿と重ね合わせながら，真剣な表情で映像を見ていました。

命は，たくさんの人に支えられているかけがえのないものです。その命を，輝かせながら生きていくために，この道徳参観日での学習をしっかりと心に刻んで過ごしてもらいたいと思います。





インターネットで**『岩手の少女、天国の母への涙のトランペット』**と検索をすると，瑠璃さんの演奏を視聴することができます。

お時間があるときに、ぜひご覧ください。